

大成ロテック
横浜支社長

若林 和仁氏

支社長



課題共有しグループ力に対応

「問題のない現場はひとつもない」と経験則から語る。「課題を全職員で共有し、大成建設グループの組織力に対応することが重要」と大成グループの一員としての誇りをのぞかせる。

現場力が大切と考える。これまで現場経験から、職員には「失敗を恐れるな」と伝えたい。「部下の失敗は自分たちも経験してきたこと。失敗から学ぶことも大きい。萎縮せずにチャレンジしてほしい」と背中を押す。

「将来的には建築工事のシェア拡大も視野に入れている」と戦略の一端を明かす。人材育成では「すべてのハラスメントの根絶と、良好な職場環境の構築」に取り組み。若手職員には希望を持ってもらいたいと願う。「完成後、発注者に喜んでもらえる達成感は忘れられない。コンプライアンス（法令順守）を徹底し、顧客満足度の向上を目指したい」。

神奈川県内の公共土木工事については、一定規模の需要があると予測する。高速道路会社の舗装関連事業も見込まれる。その上で物流施設関連事業などにも期待する。「新設インターチェンジ周辺では物流施設の建設が控える。道の駅などもビジネスチャンス

（4月1日就任。日本大学工学部土木工学科卒。三重県出身、54歳）